自治会って何をしているの？

市民協働課コミュニティ推進係　☎(63)2240

自治会は、地域住民で構成され、その地域が住民にとってより住みやすいまちになるよう、市や社会福祉協議会などと連携しながら自主的に活動している任意団体です。地域活動の中心的な役割を担っており、災害時などの「いざというとき」にも頼りになる、私たちにとって最も身近な組織です。

鹿沼市には148の自治会があります。自治会がどのような組織で、どんな活動をしているのかを紹介します。

今年度、自治会長に就任した渡辺さんに、活動についてお話を聞きました



笹原田自治会
渡辺康弘自治会長
（就任1年目）

Q 自治会活動のやりがいや、魅力はどんなところですか？

A 地域のさまざまな世代の方との交流が深まり、防災訓練などを通じて安全意識が高まりました。

Q 自治会加入を迷っている人に一言お願いします。

A 鹿沼市は市民の防災対策向上に取り組んでいると感じました。自治会活動は地域の防災活動や自主防衛と密接につながっているので、現在お住まいの自治会に興味を持っていただければ幸いです。

市内自治会長の声

Q 自治会の運営で工夫していることは？

A 役員間の連絡はLINEを活用し、情報共有の迅速化や効率化を図っています。

Q 役員などの負担を軽減するために取り組んでいることは？

A イベントの規模を見直して役員の負担を軽減し、役員でもすべての行事に参加する必要はなく、できる範囲で参加してもらっています。

Q 若い世代に加入してもらうために、どのような自治会を目指していますか？

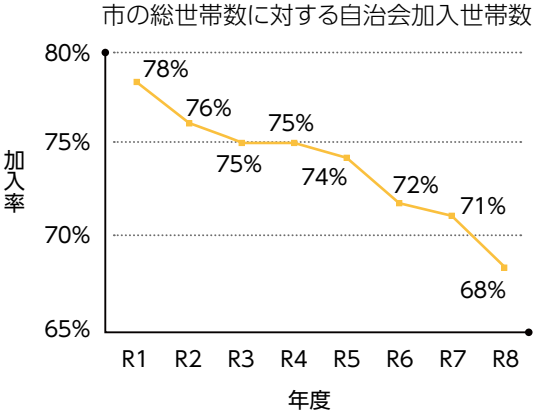
A 皆さんの意見や話をよく聞き、発言しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

Q 自治会の存在意義は何だと思いますか？

A 地域をより良くしたいと思うこと、そのために市に働きかけたり、地域活動を続けたりすることだと思います。

自治会加入率は年々低下

集合住宅の増加や高齢者世帯の退会により、加入率は年々低下しています。地域コミュニティの希薄化、自治会役員の担い手減少など厳しい状況にあります。



自治会の必要性

災害時など緊急を要する際には、地域住民が力を合わせる必要があるため、改めて地域コミュニティのつながりが重要視されています。また、防犯灯の設置などの地域内の課題を地域全体の問題として、自治会が市へ相談・要望し、改善していきます。

自治会の主な活動

地域をより住みやすく、「このまちに住んでよかった」と思ってもらえるよう、自治会はさまざまな活動を行っています。


防犯・防火パトロール

防災・防犯活動

災害時には、安否確認、要支援者への対応など、中心的な役割を果たします。

また、地域の交流を通して、声かけを行い、防犯意識を高めています。


防災フェスタ

防犯灯の維持管理

防犯灯は、自治会が管理しています。故障していないか、暗くて危険な道はないか、チェックしています。

自治会費から、電気料（約半分）や修繕費（全額）を負担し、夜道の安全を地域で守っています。





環境美化活動

・ごみステーションの管理
・地域のゴミ拾い活動 など



地域課題への取り組み

個人では解決できない地域の課題について、行政と連携して解決に務めます。


盆踊り大会

子どもや高齢者の見守り

・児童の登下校時の見守り
・ひとり暮らしの高齢者などの見守り活動


夏祭り

各種団体への支援

地域の各種団体（子ども育成会、老人クラブ、女性防火クラブなど）の活動を支援し、さまざまな分野での地域づくりを支えています。

自治会費から、支援金を出して、各種団体の活動を後押ししています。

※自治会により実施事業は異なります。また、事業によって、別の団体を組織して運営していることもあります。



一緒に地域を良くしよう!
地域未来 人づくり事業スタート

自治会に入りませんか?

加入はお電話で

●お住まいの地域の自治会長を近隣の方に紹介してもらうなどして、自治会長に直接ご連絡ください。
※自治会長の連絡先がわからない場合は、市民協働課にご連絡ください。

